

新造曳船「常磐（ときわ）」の進水式が行われました

2026年4月22日（水）山口県下関市の(株)小門造船殿において、当社2隻目となる新造曳船の進水式が執り行われました。曳船は「常磐」と命名され、弊社 湯浅社長ご令室、ご令嬢のお二方により支綱切断が行われ、拍手に包まれながら海へと進水しました。



また、神事及び式典の他に、早鞆高等学校平家太鼓部の皆さまに平家太鼓を披露いただき、新たな船の門出を祝いました。

「常磐」は、4400馬力、総トン数199トン、第3・4種消防設備を備えており、就航後の活躍が大いに期待されています。今後は各種航行試験および最終艤装を経て、10月の引き渡し後に日立港区への就航が予定されています。